

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第95号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成24年3月26日 20時00分ごろ	
発生場所	広島県福山市福山港一文字岸壁 福山市所在のJFEスチール福山港新涯導灯（後灯）から真方位020°0.57海里付近 （概位 北緯34°28.1′ 東経133°24.6′）	
事故等調査の経過	平成24年5月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{めいりん} 名凜丸、499トン 141394、岡田海運株式会社 B 貨物船 第八あずま丸、198トン 133481、久家海運有限会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A、五級海技士（航海） B 船長B、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首部外板に擦過傷 B 左舷船首部外板に擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長Aほか6人が乗り組み、福山港一文字岸壁に船尾着けで着岸していた。 B船は、船長Bほか3人が乗り組み、船長が同岸壁に船尾着けの着岸作業中、風により圧流され、平成24年3月26日20時00分ごろB船の左舷側に着岸していたA船の右舷船首部とB船の左舷船首部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 3 海象：潮汐 上げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A なし、B あり A なし、B なし A なし、B あり B船は、福山港の岸壁に着岸作業中、船長Bが風圧流を考慮した操船を行っていなかったことから、右舷正横からの南風により圧流され、同岸壁に着岸中のA船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、B船が、福山港の岸壁に着岸作業中、船長Bが風圧流を考慮した操船を行っていなかったため、右舷正横からの南風により圧流されて着岸中のA船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	